

| | | | | | | | | |
|------|---|------|------|-----|----|------|-------|----|
| 科目名 | コミュニケーション論 | 担当教員 | 原 一宏 | 時間数 | 18 | 時期 | 1 年 | 後期 |
| 学習目標 | 人は主として言語を媒介に意思や感情、思想などを相互に交流しながら生活している。その過程における相互理解のメカニズムを考える。 また医療者として、その現場のコミュニケーションスキルについて学ぶ。 | | | | | | | |
| 教科書 | プリントで対応 | | | | | 授業形態 | 講義と演習 | |
| 参考書 | | | | | | | | |

授業内容

| 回 | 項目 | 授業内容 | 備考 |
|------|--|---|----|
| 1 | コミュニケーションとは何か。カウンセリングにおけるグループアプローチを窓口にして考える。 | ・コミュニケーションの概要「人間同士の間で行われるやりとり」 ・学校における歯科指導の大切さ 子ども理解(発達障害) 子どもとのコミュニケーション ・カウンセリングにおけるグループアプローチ | |
| 2 | 対人関係ゲーム | ・不安を和らげ、人と人をつなげていく対人関係ゲーム。 ・いろいろな対人関係ゲームをやってみよう。 | |
| 3 | ソーシャルスキルトレーニング・グループワーク | ・挨拶など基本的な技法について体験する。 ・なぞの宝島について体験する。 | |
| 4 | 構成的グループエンカウンター(SGE) | ふれあい体験を通して、「感情」の気づきを視点として自己理解・他者理解の促進を図る。非言語のコミュニケーションも体験する。 | |
| 評価方法 | | 試験 ・ レポート | |
| 実務経験 | | | |
| 備考 | | | |

| | | | | | | | | |
|------|---|------|-------|-----|----|------|-------|----|
| 科目名 | カウンセリング | 担当教員 | 竹下 則子 | 時間数 | 42 | 時期 | 2 年 | 前期 |
| 学習目標 | 歯科衛生士は健康支援者として、対象者が日常の生活習慣を健康行動に変容する支援をする。そのため、対象者の個々の背景に寄り添いながら、支援を行うことができる知識と技法を習得する。 | | | | | | | |
| 教科書 | プリント | | | | | 授業形態 | 講義と演習 | |
| 参考書 | | | | | | | | |

授業内容

| 回 | 項目 | 授業内容 | 備考 |
|------|-----------|----------------------|----|
| 1 | カウンセリング概要 | カウンセリングとは | |
| 2 | カウンセリング概要 | 歯科衛生士とカウンセリング | |
| 3 | 心のしくみ ① | 心のしくみ 感情とは ・ 心の本質的欲求 | |
| 4 | 心のしくみ ② | 隠れている本当の期待要求 心のくせとは | |
| 5 | 自己理解 | “自分” はどんな人 | |
| 6 | リスニングスキル① | リスニングの基本姿勢 | |
| 7 | リスニングスキル② | リスニングスキル ペア実習 | |
| 8 | SAT基本技法 | 比喩イメージ法 | |
| 9 | SAT基本技法 | 自己イメージ法 相手の本当の気持ちを知る | |
| 10 | SAT基本技法 | 実習の振り返り まとめ 試験対策 | |
| 評価方法 | | 筆記試験 ・ レポート ・ 出欠席状況 | |
| 備考 | | | |

| | | | | | | | |
|------|--------------------------------------|------|-------|-----|----|----------|-------|
| 科目名 | 高齢者学 | 担当教員 | 千葉 真弓 | 時間数 | 18 | 時期 | 2年 前期 |
| 学習目標 | 高齢者を全人的に理解し、健やかに老いて生活することへの支援について学ぶ。 | | | | | | |
| 教科書 | 全国歯科衛生士教育協議会監修 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 | | | | | 授業 形態 | 講義 |
| 参考書 | | | | | | | |

授業内容

| 回 | 項目 | 授業内容 | 備考 |
|------|---|---|----|
| 1 | 老化の理論 ライフサイクルにおける 老年期と高齢者の心理社会的側面 | 老化に関する諸理論を理解する。 ライフサイクルにおける老年期と老年期を生きる高齢者の心理社会的側面を理解し高齢者一人ひとりが個別性豊かに生活していることを学ぶ。 | |
| 2 | 高齢者を取り巻く社会と社会的サービス 高齢者の保健・医療・福祉 | 高齢者の生きる社会ならびに、高齢者とその家族の生活を支えるための保健・医療・福祉制度と社会サービスについて理解する。 | |
| 3 | 加齢に伴う身体機能の変化とその影響 | 加齢に伴うさまざまな身体機能の変化を理解する。 またそれら変化が、高齢者の日常生活に及ぼす影響を考察する。 | |
| 4 | 加齢に伴う身体機能の変化とその影響 | 加齢に伴う身体機能の変化の理解をふまえ、それら変化が高齢者の日常生活に及ぼす影響を考察する。 高齢者の睡眠、薬物療法 | |
| 5 | 高齢者の健康と健康課題 | 高齢者の生活に影響を与える健康課題とその要因について理解する。 低栄養・骨粗鬆症・ロコモティブシンドローム・老年症候群 | |
| 6 | 高齢者の疾病の特徴と援助の考え方 高齢者に多い疾患の理解 | 高齢者の疾病の特徴を理解し、治療を受けながら生活する高齢者への援助の考え方を理解する。 高血圧症・生活習慣病・脳梗塞 | |
| 7 | 高齢者の疾病の特徴と援助の考え方 高齢者に多い疾患の理解 | 高齢者の疾病の特徴を理解し、治療を受けながら生活する高齢者への援助の考え方を理解する。 心疾患・パーキンソン病 | |
| 8 | 認知症の理解と対応 | 認知症の病態・症状と治療を理解する。また認知症を有する高齢者への対応の原則を理解し、認知症高齢者とその家族への援助方法を考察する。 | |
| 評価方法 | | 試験 | |
| 備考 | | | |

| | | | | | | | | |
|------|--|------|-------|-----|----|----------|----|----|
| 科目名 | 情報科学I | 担当教員 | 北原 高明 | 時間数 | 30 | 時期 | 1年 | 前期 |
| 学習目標 | パソコン使用に関する基礎的な技術と知識、情報モラルなどを学びます。 また、各種発表に必要となるプレゼンテーション技法を学びます。 | | | | | | | |
| 教科書 | FOM出版 初心者のためのPowerPoint2021 | | | | | 授業 形態 | | |
| 参考書 | <ul style="list-style-type: none"> ・映像で知る情報セキュリティ(DVD) ・必要に応じて資料配布 | | | | | | | |

授業内容

| 回 | 項目 | 授業内容 | 備考 |
|------|--------------------------|---|----|
| 1 | パソコン基礎知識 | パソコンの操作について確認(Officeライセンス認証等)と実習 また、情報モラル(SNS等)を考える | |
| 2 | アプリケーション実習 Windowsの操作 | Word、Excel等の実習 | |
| 3 | アプリケーション実習 | <ul style="list-style-type: none"> ・PowerPoint2021の基礎知識 ・プレゼンテーションの作成 | |
| 4 | アプリケーション実習 | <ul style="list-style-type: none"> ・表の作成 ・画像や図形の挿入 ・グラフの挿入 | |
| 5 | アプリケーション実習 | <ul style="list-style-type: none"> ・スライドショーの実行 ・総合問題 | |
| 6 | アプリケーション実習 | ・プレゼンテーション課題作成 | |
| 7 | プレゼンテーション 実習・発表 | <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション課題作成 ・プレゼンテーション発表 | |
| 評価方法 | | 試験 ・ その他 (プレゼンテーション実技とスライド作成による評価) | |
| 備考 | | 授業に臨むにあたっての準備 <ul style="list-style-type: none"> ・各自パソコン持参(OS: Windows11又は10) ・Office2019以降で(PowerPointも使えること) 又はMicrosoft365など ・USBメモリ | |

| | | | | | | | | |
|------|--|------|-------|-----|----|----------|----|----|
| 科目名 | 情報科学Ⅱ | 担当教員 | 北原 高明 | 時間数 | 30 | 時期 | 2年 | 後期 |
| 学習目標 | よいプレゼンとは、聴き手にとって魅力があるよい内容を、わかりやすい形や資料で表現して伝えるというものです。 本講義では、相手の立場に立って理解しやすいプレゼンを行うことに重点を置き、実際の資料を作成する技術を習得する。 | | | | | | | |
| 教科書 | FOM出版 初心者のためのPowerPoint2019 | | | | | 授業 形態 | | |
| 参考書 | ①歯式メーカーV3.0操作方法 ②症例研究作成のポイント ③情報科学応用編 ④プレゼンテーション術 | | | | | | | |

授業内容

| 回 | 項目 | 授業内容 | 備考 |
|------|--------------------------|--|----|
| 1 | 症例研究準備 | 「歯式メーカー」を個人のPCへインストール・使い方の説明 模擬患者実習症例集作成のポイント（抄録集様式） | |
| 2 | 症例研究準備 PowerPoint2019 | 模擬患者実習症例集作成のポイント（抄録集様式） 応用操作（写真の編集、リンクの挿入、スライドマスター等） | |
| 3 | PowerPoint2019 | 応用操作（スマホ動画やデジカメ動画の挿入と編集等） プレゼンテーション術 | |
| 4 | 発表制作 | 3分間のプレゼン資料作成 作成した資料の発表を行う | |
| 5 | 発表制作 | 課題に対するプレゼンテーションを作成する | |
| 6 | 発表制作 | プレゼンテーション作成の続き インターネットなどを駆使し、資料を作成する | |
| 7 | 発表 | プレゼンテーションの発表 | |
| 評価方法 | | 試験 ・ その他 (プレゼンテーション実技とスライド作成による評価) | |
| 備考 | | 授業に臨むにあたっての準備 ・ 各自パソコン持参 (OS : Windows11または10) ・ Office2019または2016 (パワーポイント含む) ・ USBメモリ | |

| | | | | | | | | |
|------|--|------|------|-----|----|----------|----|----|
| 科目名 | 経営マネージメント | 担当教員 | 菅 重智 | 時間数 | 18 | 時期 | 3年 | 前期 |
| 学習目標 | 患者さんから選ばれる医院作りから、安定した医院経営をするための基本的な知識を学ぶ 医業収入と診療報酬事務を学ぶ | | | | | | | |
| 教科書 | 医歯薬出版 歯科保険請求マニュアル | | | | | 授業 形態 | 講義 | |
| 参考書 | 輝く華の歯科衛生士(p98～ 第13章、14章) ※コピー可 | | | | | | | |

授業内容

| 回 | 項目 | 授 業 内 容 | 備考 |
|------|---------------------|--|----|
| 1 | 医療保険の 基礎知識 | 医療保険とは(各種医療制度について) レセプトのゆくえと医療費の支払い | |
| 2 | 医院の経営 | 一企業としての医院の経営について 組織の繁栄と歯科衛生士としての役割について | |
| 3 | 診療の流れと歯科衛 生士の関わり | 患者さんが来院してから治療終了までの流れ(カルテの記述) と歯科衛生士の関わりについて | |
| 4 | カルテ・レセプト 記載例 | カルテ1号用紙・衛生士が必要とする提供文書など | |
| 評価方法 | | 試験 | |
| 備 考 | | | |